

第3回 大野町小中学校のあり方外部検討委員会 議事概要

- 1 日時 : 令和5年6月29日(木) 午前10時00分～午前11時50分
- 2 場所 : 大野町役場3階 委員会室
- 3 出席委員(敬称略) : 学識経験者1名、有識者1名、保護者代表2名、
地域代表5名、学校代表1名、子ども園代表1名

4 議事の概要

○あいさつ

- ・町長によるあいさつ、各委員・事務局の紹介を行った。
- ・事務局より、第1回、第2回の議事内容について説明した。

○協議事項(1) 児童生徒数の推移・推計について

- ・事務局より、児童・生徒の減少の傾向と今後の推移について、昨年度の出生数をもとにした時点修正内容を中心に説明した。

【意見・質疑応答】

- ・推計の算出時に社会増減は考慮しないとの説明であったが、社会増減とはどういったものか。

⇒転出・転入による人口増減のこと。様々な要素を持って影響がなされるものであり、そのため、推計の算出時には自然増減のみを考慮している。(事務局)

- ・児童養護施設に関しても、転出入ということで社会増減となるのか。

⇒なります。(事務局)

- ・私の地域では小学校と中学校の女子は1人ずつであり、お互いに話しもできない。大野町全体でみると男女比に大きな差がないように思えるが、地区別にみると偏りが出ていると感じます。

また、出生率が低い理由として、物価が高く賃金が安い問題があるという意見を聞き、本当にそうなのかなと思っています。

○協議事項(2) スケジュールについて

- ・事務局より、小中学校のあり方検討等に係るスケジュールについて説明した。
- ・第5回外部検討委員会での答申をもとに、令和5年度末に学校規模適正化・基本方針を策定する予定である。

【意見・質疑応答】

(意見等なし)

○協議事項(3) 子ども未来シンポジウムについて

- ・事務局より、8月5日（土）に開催される「子ども未来シンポジウム」について説明した。
- ・町内の児童や生徒などにも来ていただくよう、学校を中心に広報を展開することを検討する。

【意見・質疑応答】

- ・子どもたちの参加もあった方が良くはないか。町内の学校の児童・生徒や卒業した高校生などの意見も聞きたいと思うので、可能であれば広報の展開について検討をお願いしたい。
- ・学校や園の便りなどでこの件に触れてもらったりPTAや地区の会合時に役員や区長さんから声をかける等ご協力をお願いしたい。

○協議事項（4）文部科学省主催 令和4年度「学校魅力化フォーラム」について

- ・令和4年度に文部科学省によって開催された「学校魅力化フォーラム」の動画を視聴し、意見交換を実施した。

【意見・質疑応答】

- ・他市町の事例などは是非、次回までに一度資料に目を通していただいたり、YouTube動画を見ていただいたりしていただければと思います。

○その他

- ・次回委員会の開催について、9月上旬を予定している。

【意見・質疑応答】

- ・地域のアンケートで頂いた意見についてお知らせします。
ひとつは、令和4年度を基準にして決めても将来もっと少なくなるのでどうか、また、最終的に統廃合がなされた際に、学校がなくなった地域について、果たして人口がどうなるのかという問題もある
ふたつ目は、昨年より委員が8人変わり今年度の委員もまた変わる可能性もある中で、この委員会の答申は本当に相違であるのか、という意見。
大野町は合併をしていないため、かなり色が濃く、地域愛も非常に強いところで、そういったことも考慮して検討していけたらと思っています。
- ⇒色々な方が関心を持っていただき大変ありがたい。ぜひ多くの方にシンポジウムに来ていただき具体的な話を聞いていただきたい。答申については大まかな方向性をこの委員会の意見として教育長に示すものであり、それを受けて町が基本方針を定める。拘束力があるものではないため、あまり重く考えすぎなくても良いのではないかと個人的には思う。議論が進む中でまたお力添えをいただけたら（委員長）
- ⇒答申は今年度2月に決定していただきたいと思っており、委員については変更はない予定で今のメンバーになりますのでよろしくをお願いします。（事務局）

- 「学校魅力化フォーラム」の市町村事例からピンチを逆手にとってチャンスに変えるような事例に感心した。子どもの数が減ったために統廃合という話だけでなく、これを機に大野町のビジョンを打ち出すべきだと思いました。統廃合に関して地元から反対の声が出るのはしょうがないと思うが、基準が大事なのではないかと思う。最終判断のための基準を作るのが我々の仕事だと感じた。

以 上